

家庭と健康

大津市 増田 信弘
(県医師会)

2月になると、またあの忌まわしい季節がやって来る。そう、スギ花粉症の季節。毎年、毎年、ゆううつな季節が。そう、毎年、毎年、でも、毎年、毎年というところが治療のキーワードなのです。

2月になると、またあの忌まわしい季節がやって来る。そう、スギ花粉症の季節。毎年、毎年、ゆううつな季節が。そう、毎年、毎年、でも、毎年、毎年というところが治療のキーワードなのです。

毎年決まった時期にやってくる病気ということは、裏返せば事前に対策がたえられるということです。多くの花粉症患者さんは、「症状が出てきた、でもまだ軽い」「ああ、もう耐えられない。病院へ行こう」といった風に、病状が相当悪化してから重い腰をあげます。しかしながらいったん強い反応が出てしまうと、アレルギーというものはどうにも抑えが利かなくなるもので、こうなってしまうのはなかなかコントロールが付きません。

花粉症の早期治療



「毎年、事前」がキーワード

が、最近では天気予報の時間に桜前線ならぬ「花粉前線」という形で、各地域の花粉の飛びだす時期を予測してくれています。そのような情報を頼りに症状が出る前に服用を開始する方法があります。あるいは「自身」の感覚を頼りに「そろそろムズムズしてきたな」と思ったから直ちに服用開始が、最近では天気予報の時間に桜前線ならぬ「花粉前線」という形で、各地域の花粉の飛びだす時期を予測してくれています。そのような情報を頼りに症状が出る前に服用を開始する方法があります。あるいは「自身」の感覚を頼りに「そろそろムズムズしてきたな」と思ったから直ちに服用開始